地区社協の活動紹介 ···安宿地区敬老会·安宿区民文化祭···

10月18日に安宿地域センターにて、安宿地区敬老会と文化祭 が開催され、地域の方々と交流を深めておられました。食後には、 はじめての試みによる、抹茶がふるまわれ、とても喜ばれました。

またペープサートで"介護保険サービス、悪質商法"について わかりやすく演技され、困ったことがあれば相談して下さいと伝 えられました。安宿地区ではふれあいバック、命の宝箱の普及活 動を日頃より取り組んでおり、これからもしっかり活用しましょ うと説明がありました。

社協も地域の皆さんと共に支え合い、助け合いのしくみづくり をすすめ、住み慣れた地域で安心して暮らせるように関わって行 きたいと思います。

「困った事があれば、甘えてくれんといけんで~ 先輩が手本を見せてくれんと、先でわしらも甘え られんけぇ~」



▲抹茶の接待「ひさしぶりに 頂いた。おいしかったよ!」

前畑サロン《戸野地区》

「あんたぁ、どうしよるんね~」「お~元気にしとるよ~」と、 顔を合わせるとおしゃべりの花がパッと花開きます。

<mark>今回はチーム対</mark>抗"さかな釣りゲーム"で熱戦を繰り広げ <mark>ました。日曜大</mark>工が趣味の参加者は、レク材をみながら「家 でも作れるかのぅ?」と興味津々でした。



食事ボランティア「あじさい」のメンバーにサ ポートしてもらいながら、男性料理教室を開催し ています。

年4回の楽しみ、四季折々の地元で採れる旬な食 材(ときにはワタリガニも!)と、会食を参加者 みんなで楽しんでいます。



▲河内の男達はひと味違う!!

学習支援後のお楽しみ

「そうめん流し」

紙のイチオシマークを切り取って、

お気に入りの地区

《木谷地区》

"お茶の間サロン ほぼろ島" 活動開

平成27年7月、東広島市内では5地区目となる"お茶の間サロン ほぼろ島"が、安芸津町木谷地区で始まりました。きっかけは「子ど も・子育て世代の応援をしたい」という、地域住民さんの想いでした。

実際、木谷地域には「延長保育が無い、土曜日午後の保育が無い」 などの状況があり、「地域サロン」など、高齢者の「居場所」はたく さんありますが、子どもから高齢者まで、幅広い世代がいつでも集ま れる「居場所」はありませんでした。そこで、木谷自治協議会をはじ め木谷地区社協蛟龍のメンバーが中心となり、木谷地域センターを拠 点として「お茶の間サロン ほぼろ島」を立ち上げました。

現在までに「木谷小学校全児童(希望者のみ)を対象とした、夏休 み期間中の"学習支援"」「木谷の子どもから高齢者まで、誰でも気軽 に立ち寄れる"カフェ"」を実施しています。

▲学習支援の様子 「ここがわからん かったの~」 カフェの様子

「ひと息つこうや



ツ城ふれあい いきいきサロン

このサロンは、平成26年に「三ツ城自治協議会 西 条中央支部の健康・生涯・福祉部会」が中心になり立

ち上がったサロンです。「西条中央は一戸建てとアパートが ▲人はもちろん、賑やかな声で溢れる サロン会場! 混在しています。住民同士の交流が希薄になりがちなので、

まちの人がつながれる場所が欲しい」という地域住民の思いを汲み取

り、地域の声を受け、運営されています。

参加者は、高齢者の方とスタッフをあわせると約40名。関 わるスタッフの多さと若さには驚かされます!この日はさら に地域の子ども会も参加し、お茶会と民生委員児童委員さん 手作りのゲームと…大賑わいの一日でした。「サロンに来て、 はじめて知り合う人もいるのよ。」「お友達が出来たわ~。」など の声も参加者から聞かれました。

地域の様々な人を引き込み、多くの方に支えられ運営されて いる素敵なサロンになっています。



民生委員児童委員さんの手作り ゲームで大盛り上がり♪

まるまる

丸山地区の方と広島国際大学の学生が今年の6月に立ち上げ、 <mark>名前もみんなで決</mark>めました。毎月1回、主に黒瀬保健福祉センター でサロンを開催しています。

サロンでは、学生が大学で学んだ知識を生かして体操を行った り、地区の歴史を学び地域行事に参加するなど交流を深めていま

す。出来たてのサロンですが今後の活動が どのように広がるかとても楽しみなサロン です。地域の輪が○、笑顔が○、○がいっ ぱい丸山地区の「丸○サロン」。お近くの方 は、お気軽にご参加ください♪

> 8月 真野本神社の夏祭り。社務所 で地元の野菜を使ったカレーを作り、 祭りをお手伝い。▶



グループでサロンの名前を話 し合いました。学生は、地区の昔話 に興味津々です。





リハビリテーション学部の学生が 筋力アップの体操を教えてくれました。

ちょうゆう

反ときめき傷

今回は、廃材となってしまった手芸糸をうまーく活用しま す。てきぱきとできる人もそうでない人も、手と口も動かし ながらカバンを作ります。みなさん、おしゃべりしながらも

立派に完成。時間が経つ のも忘れ、いつの間にか 夕方になりました。

完成したカバンを持っ て、何を買いに行こうか とまだまだ話はつきませ ん。みなさんもいっしょ におしゃべりしましょう。





▲丁友ときめき倶楽部の皆さん

しく会話をしながらカバンづくり!

社協・サロンに、

セロハンテープ等で貼付けてみよう=